

# 部長会議

日時：令和4年9月14日(水)

午前9時～

場所：市役所4階 庁議室

## 1 市長の話

- 今議会では1件が継続審査となったが、一つ一つの説明、表現にはこだわりを持っておかないと、我々の伝えるべき情報が違う趣旨として伝わる恐れがある。議会に臨む姿勢や、市民に向き合う姿勢など、今一度市として見直し反省すべきところがあると感じている。
- 決算委員会について、論点または争点になりそうなことは各部署で想定していると思うので適切に対応してほしい。待機者については、職員の待機が長時間にわたることのないよう、待機の際のルールなど統一感をもって臨んでほしい。
- 10月1日から事務職26名、土木技術職1名、計27名を採用する。新型コロナウイルス感染症対応などによる業務量の増加に加え、産休や育休、療休などにより、年度当初の想定どおりでなかったところもあったが、今回の配置を受けて、業務改善に取り組んでほしい。
- 年度途中のミスマッチなどに弾力的に対応するために、管理職等の異動について、11月をめどに実施したい。また、あわせて部内でも繁忙期がわかっている部署については、繁忙期に向けて少しずつでも人員を入れ替えるなど、配置を考えてほしい。新型コロナウイルス感染症の影響で突然担当の職員が不在となることもあり得るため、より多くの職員が複数の仕事をこなせる状況を意識的に作っていくなど、年度途中に新たな職員を迎えることで、組織の文化を変えたい。

## 2 事業進捗状況確認の報告について

各部の報告内容については下記ページに保存のプロセスシートを確認ください。

(<https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/shiseijoho/1007418/1015279.html>)

### 3 通知及びお知らせ

(1) 10月以降の市議会の予定について (総務部) 【資料無し】

住民税非課税世帯等に対する5万円の緊急支援給付金とワクチン接種の費用については、これから調整が進むと思われる。非課税世帯に対する5万円の給付について、庁舎内で会議室を確保して作業を行うことになる。その際は、503会議室の専用使用についての協力を全庁的にお願いする。

(2) 文書管理システムの移行について (総務部) 【資料1】

11月1日から庁内で新文書管理システムを本格稼働していく。従来のシステムとは別会社のものを採用しており、機能や操作性は充実するが、稼働当初は操作方法や画面表示が従前と異なり慣れることが必要であるため、9月12日から10月7日までの間については、新システムを試行できるよう設定している。すでに実施した操作研修を受けた職員は部署内で操作方法の説明をしてほしい。また、11月1日からの本格稼働前には、新旧システムを入れ替えるため、10月28日から10月31日までの4日間両システムを停止する。この期間の決裁などについては留意されたい。

(3) 10月新規採用職員の配置について (総務部) 【別途送付】

今回初の取り組みとなるが、研修の予定とあわせて配置表を庁内及び採用予定者本人へ事前に通知するので各所属は受入れの準備等をしてほしい。今回の配置は臨時的な措置という側面があり、来年度に向けて総合政策部とも協議しながら、配置の体制については改めて整理をしていきたい。

(4) 公共施設電力受給の契約について (総務部) 【資料2】

為替の動向や原油価格の高騰により、現在契約を結んでいる電力供給の事業者より、今年度末までの履行が出来なくなったとの申し入れがあった。全国的な状況だが、11月から関西電力株が提供する市場連動プランに切り換える。対象の施設の所管に対して、契約検査課のほうから個別に新電力プランへの移行手続きなどについて説明しているが、移行の35日前までに申込が必要となるので対応してほしい。

新電力プランについては、為替や原油価格、電力卸の取引の動向により価格が変動するプランとなっており、動向によっては12月で補正することもあり得るので、改めて周知する。また、契約検査課により把握できていない、指定管理者などを置いている公共施設で、契約の移行が別途必要なのかもあわせて確認してほしい。

(5) 第5次川西市環境率先行動計画における紙の削減目標について

(市民環境部) 【資料3】

実数枚数としては、4月から8月にかけて134万8,639枚であった。通年に換算すると、323万6,734枚となっている。2024年の目標年度では308万枚を想定しているので、会議等における紙資料の削減にいま一步取り組んでほしい。

#### 【市長】

紙資料の削減については、かなり進んでいるのではないかと思う。協議の際も、資料のデータ化が徹底されてきているので、この流れを継続できれば目標も達成できるのではないか。

#### (6) 災害備蓄水のラベルのリニューアルについて（上下水道局） 【資料無し】

災害用備蓄水について、これまで「きんたくんの力水」を11年以上使用してきたが、本市の安全で安心な水道水のPRと川西市自体を知ってもらうきっかけづくりを目的に、リニューアルすることとした。デザインについては、本市と連携協定を締結している大阪成蹊大学の芸術学部に依頼した。3年生19名の38点の作品から、今年の3月に選考会を実施し、最優秀デザイン賞1点「川西市のもしもに備えた優しい水」をデザインに採用している。今後、販売やふるさと納税の返礼品など幅広く検討していきたいと考えている。

#### (7) その他

##### ● 台風に関する情報について（総務部）

台風がいくつか発生をしており、現時点の情報では直接の進路に当たらない見込みであるが、9月17日からの3連休において雨量が心配される。台風から離れたところであっても雨量が多くなるとの情報もあるので、最新の気象情報を庁内掲示板で周知していく。

##### ● 503会議室の専用使用について（福祉部）

住民税非課税世帯等に対する5万円の緊急支援給付金について、国からの通知に従い給付作業を進めていくが、現在の予定では12月から3ヶ月ほど503会議室を専用したいと考えている。既に予約している所管については、他の会議室への変更について協力をお願いする。

##### ● 交通安全イベントの開催について（土木部）

9月23日の午前10時から午後1時に、キセラ川西のオアシスタウン1階と2階の広場で開催する。当イベントは、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社の協賛により包括連携協定の一環として実施する。ドライブシミュレータや自転車危険運転のVR体験など、様々な体験ブースを用意しているので、部内でもイベントの案内をお願いしたい。

- 第34回「住生活月間」における功労者表彰について（都市政策部）  
市民が活用できる空き家調査アプリの開発について、国土交通大臣表彰を受賞したことを報告する。

---

\* 次回部長会議については日程調整中